

の申込みがありました。これまでも新聞や折込広告等でPRをしてきましたが、今後は更に市の広報誌や、住宅メーカー、不動産業者等へ積極的なPRに努めていきたいと考えています。

なお、現在の計画で全区画売却となった場合の市の負担は、8,156万円となります。



住宅政策として期待される東若宮団地  
(大洲地区・東若宮)

### 阿蔵高山用地について

**問** 土地開発公社による用地取得から現在までの経過について伺いたい。

**答** 当初、同用地は県立大洲農業高等学校畜産施設の移転候補地と大洲市の将来の発展のため、昭和61年度から63年度にかけて土地開発公社が取得したものです。

その後畜産科が廃止となったため他の開発構想等について模索を続けましたが、いずれも実現には至りませんでした。

道路については同用地開発計画のため、平成10年度から14年度にかけて延長980メートルの市道阿蔵高山線を整備しました。

全国的に厳しい土地開発公社の経営の抜本的改革を図るため、総務省では地方債・特別交付税等の措置がとられることとなったことから、市では本年3月に策定した「経営健全化計画」について6月に県の指定を受けました。

このことよって、同用地を平成18年度に土地開発公社から再取得し、また道路用地

も平成22年度までに再取得することとなったものです。

### 農林水産物ブランド化について

**問** 農林水産物のブランド化の取組及び愛媛県の愛媛農林水産物ブランドづくり推進事業の導入について伺いたい。

**答** 県では愛媛愛フード推進機構を設立し、平成18年度から20年度までの3年間で本県独自のブランド化の推進と地産地消、食育の推進を図っています。

大洲市ではまだ申請を行っていませんが、潜在能力を秘めた産物もあり、今後協議を重ねながら取り組んでいきたいと考えています。

また県の愛媛農林水産物ブランドづくり推進事業では、愛媛県森林組合連合会によるシイタケのブランド化を申請されており、大洲市の生産者も積極的に取り組まれています。

今後も各種農林水産物振興について財政事情も考慮しながら支援をしていきたいと考えています。

### 山鳥坂ダム建設について

**問** 山鳥坂ダム建設による県道小田河辺大洲線で道路の付け替えを実施する場合、車の通行に支障が出ないよう、国土交通省及び愛媛県に強く要請できないか。

**答** 同路線の内、ダムサイトに近い区間約6・4キロメートルが付け替え工事となり、この一部に工事用道路を兼ねる区間があるため、現在この区間の一般車両の通行制限等を含めた施工計画が検討されています。

現段階で分かっているのは、特に二車線でない道路区間は工事車両と一般車両の通行分離を図り、現道がない区間は待避所を設置すると聞いています。

さらに、工事車両への安全運行の指導・監督の徹底、また安全対策協議会等が設置されることとなっており、今後も関係者の意見が反映されるよう市からも強く要望していきたいと考えています。

**問** 貴重な動植物が生息する山鳥坂の環境が失われることの見解と、消滅の恐れ

のある貴重な種の人為的な移植による環境の変化への対応について伺いたい。

**答** ダム事業により影響を受ける重要な植物21種、動物3種について、専門家の意見を聞きながら環境に配慮した場所への移植計画の詳細が検討されていると聞いています。

また、移植については、段階的な方法やモニタリングが実施されることとなっており、今後についても、地域の意見の反映に努めながら円滑な事業を実施していきたいと考えています。



肱川・河辺地区の主要道路、県道小田河辺大洲線  
(肱川地区・山鳥坂)